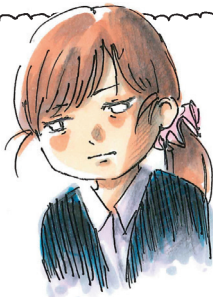


私の不合格体験記

学校の先輩から国試対策について聞いたことはありますか？
いつから対策を始めたか、どんな書籍を使ったか、どのように勉強したか…。
先輩はいろいろ教えてくれる心強い存在です。

では、国試に落ちてしまった、という体験談は聞いたことがあるでしょうか？
今回編集部では、残念ながら国試に不合格だった先輩(大学生:T.Hさん)に
お話を聞きました。不合格の原因はどこにあったのでしょうか。



4月~7月

意外に思うかもしれませんが、国試対策は学内で誰よりも早く、4年生の4月から取りかかりました。4年生では国試はもちろん、就活や卒業研究などイベントがたくさんあるので、計画を立てて1年間やりきりたいという思いがあったんです。それと、誰よりも早くスタートを切りたいかったので、国試対策として一番早く発売された過去問題集を買い、さっそく解きはじめました。

しかし、ほとんど理解できず、解けない問題ばかりでした。でもそのときは、これから勉強していけば解けるようになるし、どうせみんな受かるんだからと軽く考えて、それほど気にしませんでした。

夏休み

国試対策において重要な時期である夏休み、私は卒業研究がうまく進まず時間を取られてしまい、ほとんど勉強ができませんでした。そのときは、国試よりも目の前の卒業研究で頭がいっぱいだったのです。「このままではヤバイ!」と思い、スキマ時間に勉強できるような小さめの本を買いましたが、結局あまり使いませんでした。

9月~12月

この時期、まだまだ卒業研究が終わらず、本格的な国試対策はできていませんでした。また、時間をみつけてたまたま国試対策をしても、毎回1ページ目から勉強したり、各分野のさわりの部分をつまみ食いしたりするだけで、結局なにも身につかないままでした。12月にやっと卒業研究が終わりましたが、春から国試対策を始めたはずなのに、この時点で学力はあまり向上していませんでした。

1月~2月

やっと本腰をいれて国試対策に取り組めるようになりました。普通はこの時点で焦ると思いますが、私は悪い意味で冷静でした。それは、「なんだかんだ受かるはずだ」という根拠のない自信をもっていたからです。さらに悪いことに、家にもって一人で勉強していたことや、**模試の結果(もちろん不合格判定)をしっかりと見なかった**こともあり、学力がついていない状態と向き合えないまま国試当日を迎えてしまったのです。また、勉強方法にも問題がありました。私は国試の情報をちゃんと調べなかったため、**8割未満だと不合格になるという必修問題の重要性を認識しておらず、一般問題の対策ばかりしてしまった**のです。

ちなみに私はこの時期になっても、6時間のアルバイトを週2~3日していました。勉強は、アルバイトのない日に朝6時から18時くらいまでやる、という感じでした。



国試後

結果として不合格に終わりました。申し訳ない気持ちでいっぱいになりながら、内定を頂いた病院に電話をかけ、不合格だったことを報告しました。そんな私をよそに、受かった友人たちは大喜びで、私は腫れ物に触るように扱われたのでした…。

後輩たちへ

私の反省点をまとめると、以下のことが思い浮かびます。

- 1 意気込みだけで、きちんと計画を立てられていなかったこと
- 2 時間が限られていたにもかかわらず、非効率な勉強法をしていたこと
- 3 模試の結果などを軽視し、自分の学力を認識できていなかったこと
- 4 国試のことをよく知らず、効果的な対策ができなかったこと

最後に、具体的な勉強法についてアドバイスしたいと思います。まず、**必修問題と一般・状況設定問題の勉強は分けて考えたほうがよい**ということです。必修は専用の問題集を用意したほうが安心です。また、**使う参考書や問題集は浮気せず、これと決めたものを最後までやったほうがよい**です。そのほうが間違ったところや苦手なところなどを把握しやすいし、さっと見返せるので効率的です(もちろん解き終わって物足りない場合は買い足してもよいと思います)。また、**国試のしくみをよく把握して対策すること**(必修は8割以上必要、状況設定問題は1問2点で配点が大いなど)が大切だと思います。



国試の基本情報や勉強法については p.29 からまとめてあります。
必ずチェックしておきましょう★